

LPO

Mar, 2000

12

URL://www.musenet.co.jp/

LPO編集室：〒174-0063 東京都板橋区前野町3-43-7 楽譜専門部 (株)松沢書店内 TEL：03-5970-5917

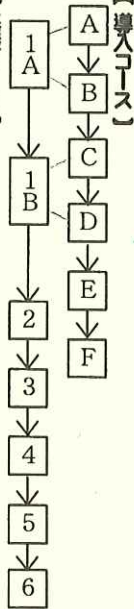


『アルフレッド・ピアノライブラリー』

たむら とも子
田村 智子

アルフレッド・ピアノライブラリー(全音楽譜出版社)は、導入からソナチネ程度までを一貫して学べ、音楽総合学習を目指すメソッドです。そして、生徒が無理なくレッスンを進めていけるよう、「導入」「基礎」の2つのコースを設けています。これらは左図のように、学習事項はほぼ同じなのですが、「導入」はよりかみくだいた内容、「基礎」は標準的な進行となります。したがって、生徒によってコースの使い分けができることも、一人の生徒に対しても、その時々理解度によって、これら二つのコースを行き来できるシステムになっています。

また、それぞれのレベルには、メイン教材である「レッスンブック」をバックアップする「併用曲集」「楽典」などがあります。



【基礎コース】
アルフレッド教本は、現代の生徒(塾などで時間のない生徒)の状況を踏まえ、長続きするためのさまざまな工夫が盛り込まれています。

・一貫して復習を含みながら新しいことを一つだけ加えるシステムなので、生徒に過大な負担がかかりません。

・新しく学習する内容が生徒に理解できる言葉で説明されているので、生徒は自分が学ぶべきことをしっかりと認識することができます。

・次のレベルに進む場合(新たな巻に進む場合)も、巻頭に前巻の復習項目が盛り込まれているので、レベル間の移行はスムーズです。

●教本の目的の一つは音楽の約束事を弾いて学習することです。アルフレッドの楽典は「半音→全音→テトラコード→スケール→調号→和声」のしくみがしっかりと確立されているため、コード学習や即興演奏の学習へもつなげることが出来ます。

◆基礎コースレベル5「レッスンブック」を例に

・ソナタ形式を生徒がわかりやすいよう、曲中に「提示部・属調などの「書き込み」がある。

・前打音・トリル・裝飾音・モルデントの違いも明確に解説。これら楽典的なことを学習したら、すぐ演奏をして確かめるので、着実に力をつけていくことが出来ます。

●レッスンでもっとも重要な「導入」については、細心の注意が払われています。

◆右手と左手の認識(導入コースレベルA「レッスンブック」を例に)
左手で弾く曲は左のページに、右手で弾く曲は右のページに配置。
イラストで左手や右手のどちらで弾くかが目で見てわかる。

・曲についている歌詞(左は低いね、右は高いねなど)からも学習を強化。

◆はじめて両手で弾く順序(導入コースレベルB「レッスンブック」を例に)
1 拍目を両手一緒に弾く(片手は1小節分伸ばして無理させない)
2 両手が同じリズムで弾く(両手同じ動きは強さをずらす)

・どちらかの手で拍(ビート)をききむ。(安心して弾ける)

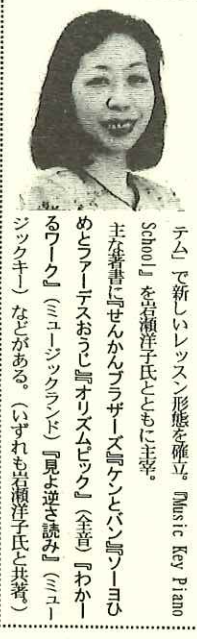
以上、大まかな概略を説明しましたが、一番大事なことは教師が生徒の状況を敏感に察知して、教師の手の内である引き出しから何を取り出せばよいかを瞬時に判断できる能力を持ち、その引き出しを満たすために勉強を続けることではないでしょうか。

私どもでは、実践に即した指導力アップのために、「アルフレッド認定講座」を企画しております。実際の現場で求められる指導のノウハウについて色鉛筆や定規などで書き込み、一般講座とは一味も二味も違った内容です。レッスンで起こるさまざまな指導の問題点を根本からチェックし、具体的指導法を提案します。

(お問合せ) ミュージックキー TEL:0559-89-3900 担当(植松)

国立音楽大学ピアノ科卒。ピアノ指導者のためのThe New School for Music Study 采風 留学。グループと個人レッスンのよき部分を取り入れた「ミュージックキッズ」で新しいレッスン形態を確立。Music Key Piano School」を指導者としてともに主宰。

主な著書『せんかんフラサースケッチとハンソウヨウ』
めどラーテスおとし「オリスロク」(全書)『わかーるワーク』(ミュージックランド)『見よ逆読み』(ミュージックキ)などがある。(いずれも岩瀬洋子氏と共著)



いよいよ新学期!

導入教材大研究

今年もいよいよ新入会生を迎える時期になりました! 今回はこの時期に欠かせない「導入教材」を、昨年の売上データをもとに、いま何が一番多く使われているかを「紹介」します。新学期のテキスト選びの「参考」になれば幸いです。

●テキストベスト10●

- 1位 『ひあのとリー』
田丸信明 学習研究社
テキスト全6巻、ワークブック、レパートリー各全6巻、ピースレパートリー全12巻。
いま、教材ではもつとも人気のあるテキストです。バイエルのいいところを取り入れ、またオリジナル曲を加えて制作されました。全体的にくく緩やかな構成で、少しずつ無理なくピアノが上手になっていきます。永田萌さんのかわいいカラーイラストも好評です。
- 2位 『バーナムピアノテクニック』
バーナム 中村智子・麗 音楽譜出版社
導入書、ミラック、1〜4巻の全6冊。
強い手と柔軟性のある指を作ることがこのテキストの目的です。それぞれの練習曲に「ジャンプしよう」「深呼吸」といった楽しいタイトルとユーモラスな挿し絵が描かれていて、練習が無味乾燥なものならぬよう工夫されています。「ミラック」は「導入書」ではちょっと難しいかなという生徒さんにお使い下さい。ミュージック・データあり。
- 3位 『ピアノソングブック』
植原涼子 音楽之友社
テキスト全5巻、たのしいテクニック全3巻。
導入期から音楽性とテクニックの基礎を身につけるために、最初から連弾でスタートします。古典期から近・現代まで幅広く学習できます。ミュージック・データあり。
- 4位 『ともだちピアノ』
石丸由理 下レミ楽譜出版社
あそび編、A〜Dまで全7冊。
まず「あそび編」でピアノに親しんだ後、徐々にピアノの基礎を身につけて、発展させていきます。Aは5〜6才、B〜Dは小学校1年生から4年生を目安としています。
- 5位 『うたとピアノの絵本』
呉 曉 音楽之友社
①みぎて②ひだりて③りょうての3巻。
子どもは音楽を知らなくとも歌を歌うことが大好き。そこで、歌を歌ったりピアノを弾いたりしているうちに、遊びながらいつの間にか基礎を習得してしまおうという教本です。
- 6位 『やっぱりすき! ピアノ教本』
橋本晃一 下レミ楽譜出版社
テキスト全4巻。
現代版バイエルともいうべき教本。1巻はバイエルの曲に歌詞と伴奏を付けました。2〜4巻は「やっぱりピアノが好き」の全曲に、楽譜の読み方やテクニックに関する練習曲をバイエルから引用して加えました。
- 7位 『みんなのオルガン・ピアノの本』
ヤマハ音楽振興会 ヤマハミュージックメディア
テキスト4巻、ワークブック4巻。
初めて世に出たのが33年前。以来使われつづけてきたテキストです。曲に歌詞がついていて、歌いながら基礎能力が身につくようになっていきます。ミュージック・データあり。
- 8位 『子どものバイエル教本』
藤本賢助 池田雅子 編 下レミ楽譜出版社
全5巻、併用曲集、ドリル・テクニック各全5巻。
一冊をやり終えた喜びが次のステップに進む意欲へとつながるという意図で5分冊になった教本です。「子どものバイエル導入教本」は、バイエルの前に「という副題の通り、ピアノ学習者の前段階で使用します。
- 9位 『幼児のためのベーシックス』
J・バステイン 東宝企画
「ピアノ」「セオリー&テクニック」各2巻。
4〜6才を対象にした教本で、バステイン・ピアノ・ベーシックスへ進む前の教本です。「全調」が基本です。3才児を対象にした「ピアノパーティー」は、ピアノの導入期の音楽的要素を習得できるよう考案されました。
- 10位 『みんなのおけいこ』
新井千真美 音楽之友社
テキスト全3巻、付随テキストとして「おんぶれんじゅうノート」全2冊があります。
最初に教える音楽の基礎段階では、指導の要点が細かく書かれています。レッスンの年間計画例が載っているのはこのテキストだけです。



●ソルフェージュベスト5●

- 1位 『新版おんがくドリル』
田丸信明 学習研究社
全7巻、導入、基礎、応用、発展編の構成。全巻ともリズム練習付きで、音楽基礎能力を身につけられます。また、音楽用語は学習指導要領に準拠しています。
- 2位 『おんがくドリルワークブック』
田丸信明 学習研究社
全7巻、対象は小学生です。練習問題と応用問題で構成される各ステップで音楽基礎能力が高まります。「おんがくドリル」の内容を応用発展させたものです。
- 3位 『ともだちノート』
石丸由理 下レミ楽譜出版社
導入編(0)を含む全7巻。はじめて音楽を学ぶ子どもたちに、音感、リズム、こぼれ、形、色、スペース感覚などを、身の回りにある題材を選んで学べるようになっていきます。
- 4位 『わかるワーク』
岩瀬洋子・田村智子 ミニブックランド
導入編3巻、基礎編3巻、発展編3巻、譜読みを確実にするための教材です。ピアノの鍵盤と五線譜の一致を図るために、最初から鍵盤の位置と音符の意図を図示し、確認しながら進めていきます。
- 5位 『おんぶのドリルソング』
鹿嶋登江 ぴおん出版
全8巻、幼児から小学校高学年までが対象。導入編では小さな幼児でも無理なく音符のルールが学習でき、基礎編では必要な音楽の基礎知識を、そして発展編へと進んでいきます。

☆セミナーレポート☆

◎岡井奈美子

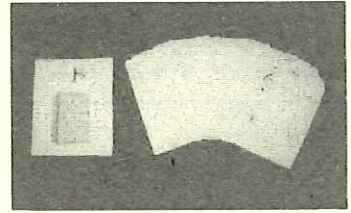
ふよみなんてへっっちゃら、セミナー

はじめてピアノを習った子でも、もっとも混乱し、難しく感じるという『譜読み』。特に導入期において、譜読みをマスターさせられるかどうかは、その後のピアノレッスンのあり方、ひいてはその子が長く、そして楽しくピアノレッスンを続けていけるかを大きく左右すると言っても過言ではありません。

実際、特にへっ記号読みに対する生徒たちの苦手意識は深刻で、そのことに頭を悩ませていらつしやるピアノの先生も少なくないとか。どつしたりやさしく、そして楽しく譜読みの力をつけてあげられるのか……こんなテーマのもと、自宅でのピアノレッスンの傍ら、教材の研究・開発を行ない、昨秋、共同音楽出版社にて『ふよみなんてへっっちゃら①②』を出版された岡井奈美子先生の、『ふよみなんてへっっちゃら、セミナー』が、ヤマハ所沢店にて開催されました。



これがテキスト。本文はまほうつかいの女の子『ペコペコちゃん』とそのお母さんの会話形式で進んでいきます。



これが『大譜表バッチリカード』。工夫次第でいろんな使い方ができます。もちろん、テキストの中にも使用例は掲載。

先生の提唱される『大譜表マスター法（ふよみなんてへっっちゃら方式）』とは、ト音記号読みを覚えてからへっ記号読みを覚える従来の譜読み方式ではなく、はじめから『大譜表（ト音記号へへっ記号がつながった楽譜）』を使い、楽譜を視覚的にとらえるというもの。今回のセミナーでは、テキスト『ふよみなんてへっっちゃら①②』の解説のほか、テキスト付録『大譜表バッチリカード』を使つてのカードゲームのやり方、実際のレッスン風景のビデオなど、具体的かつ効果的な指導法を多数紹介。特にビデオでは、年齢やピアノ歴が異なる生徒たちのレッスン風景が時系列（時間を追つて）で上映され、レッスン回数を重ねることに子どもたちが大譜表の譜読みをマスターしていく過程とともに、先生と生徒同士が打ち解けていく様子も窺つことができ、受講者の先生方にも好評でした。

春からはよいよ新学期がはじまります。新入会生に、この『ふよみなんてへっっちゃら方式』を取り入れてみてはいかがでしょうか？

生徒の音楽的自立をめざすレッスン

☆ママ〜。

ユカリちゃんのお家です。ユカリちゃんが、ピアノの前にすすわつています。楽譜はすでに開かれて、楽譜立てに置いてあります。それなのに、いつまでたつても、練習ははじまりません。

そのつちに、ユカリちゃんの足がバタバタ動きはじめました。イライラしているのでしょうか。

とつとつ、ユカリちゃんの泣き叫ぶ声が、部屋中に響きわたりました。

「ママ〜。わかんないよ〜」

お母さんが、エプロンで手を拭きながら、走ってきました。

「ごめん、ごめん。もつ少しで、お皿が洗い終わるところだったのよ。待たせてごめんね」

お母さんは、なぜかユカリちゃんにあやまつています。

「すべへるつて、いったじゃないか〜」「ごめんね。ママが悪かったわ。さあ、はじめましょう」

もしかしたら、ユカリちゃんは、自分で楽譜が読めないのかも知れませんが、ユカリちゃんは四歳。ピアノ歴一年です。ユカリちゃんが、お母さんに目で催促しました。お母さんは、慌てて楽譜を読みはじめました。

「はじめの右手は、ソ。つきは、ミ。つきは、シ。つきは、ファ。つきは……」

第 回

江口 寿子

ユカリちゃんが、怒りました。「速すぎて、わかんないよ〜」「ごめん、ごめん。もつとゆつくりだったわね」

まるでお母さんは、ユカリちゃんの譜読み係のようです。自立とはほど遠い、練習風景です。

☆楽譜を読む。

シン「君のお家です。お母さんがいいました。」

「シンちゃん。ピアノの時間よ〜」

シン「君は元気にお返事すると、楽譜を抱えて、ピアノのほうへ歩いていきます。自分で楽譜を開くと、すぐに練習がはじまりました。シン「君も、ユカリちゃんと同じ四歳。ピアノ歴一〇ヶ月です。」

ときどき楽譜に顔を近づけながら、シン「君は、ゆつくりゆつくり弾いていきます。ピアノの音は、ときどきこまったり、またきこえたりしています。お母さんは、キッチンでお皿を洗いながら、「こんどの曲もステキな曲になりそうだから」と、楽しみにしています。

シン「君は、自分で楽譜が読めます。楽譜が読めるかどうかは、「自立の鍵」です。シン「君の自立の足りは、少しづつ確かなものになりつつあります。」

3月の新刊&おすすめ本

おすすめの音楽書

☆紅いタキシード☆

～これがボクの音楽人生～

『オッキーことはイイことだー』(古いっ!)の直純先生が、自分の半生を語る。斉藤秀雄氏の愛弟子ながら、小澤征爾とはまた違った指揮者の世界を垣間見ることが出来ます。

(山本直純 著 東京書籍 1700円 発売中)

☆クラシック音楽 夢レース☆

～全98レース独断予想、本命はこれだ!～

レース予想形式で楽しむクラシック!!

『交響曲第一番レース』『シネマ・ショパン・レース』『夫婦でどんびしゃ! レース』など、プツと吹き出しながら、読み終わったあとはコンサートに、海外に出かけたくなる一冊です。
(好田タケ 著 キングペーパー出版 1500円 発売中)

☆ピアノ教室パワーアップ大作戦☆

～月刊ピアノ4月号増刊～

“生徒が増える! ハッピー教室大研究” “しつくり、楽しく、長続き! こうして「ヤル気」を伸ばし「感性」をはぐくむ”の2大テーマをもとに編集しています。

これはホトーにオススメです。
(ヤマハミュージックメディア 1500円 3/17)

* 教本・曲集 *

●ピアノレッスンカルテ

～ピアノ教室経営の必需品～

生徒のレッスン過程を把握しておくための“情報ノート”。レッスンノートは“連絡”するためのノートですが、この“ピアノレッスンカルテ”は教師のためのノートです。
(佐土原知子・高橋俊之 著 ドレミ 1400円 3/上)

●こどものための楽典と問題集(解答付)

読譜のための楽典の知識を、子ども向けにわかりやすく解説。

(山本雅之 著 ドレミ 700円 3/中)

●ラヴェル ピアノ曲集 I

(Vレリルミュテータヌ 運指・校訂)

古風なメヌエット／

亡き女王のためのバヴァーナ

ラヴェル本人から指導を受けた著者が、演奏の要点を記した実用譜。

(音楽之友社 1200円 3/下)

●びあのくらぶ ラララ発表会

対応ミュージックデータは3月下旬発売予定。

⑤手話とあそび

子どもたちの知っている曲を連弾用に編曲。

⑥からだも楽器

全曲ポディーパーカッション譜面つき。

(びあのくらぶ 編 音楽之友社 各550円 発売中)

●わくわくピアノ発表会

バイエル入門～後半程度までを細分化した、難易度別ピアノ発表会用ミニアルバム。かわいいイラストつき。

①むしのフェスティバル

バイエル入門程度。

②空のてんらんかい

バイエル前半程度。

③ファンタジックワールド

バイエル後半程度。

(ヤマハ 各600円 3/下)

●ピアノランドコンサート

④-1 カンガルーのニーナ

難易度別に3段階に分かれ、上巻は『ピアノランド①②』『たのしいテクニック④』と併用できます。C音から両手5指のポジションで弾けます。

(樹原涼子 著 音楽之友社 1200円 3/下)

●リヒャルト・シュトラウス ピアノ作品集

5つの小品 Op.3/ソナタ Op.5/

風景画 Op.9 (フランク・ブラレイ解説・選曲)

R.シュトラウスが17才から20才にかけて作曲した独奏全3曲。フランク・ブラレイはフランスの若手実力派ピアニスト!

(音楽之友社 1700円 発売中)

●トおんきごうのれんしゅう／

●いろいろなきごうのれんしゅう

子ども向けの音符練習ノートです。

(森本琢郎・池田恭子 著 ドレミ 各400円 3/中)

* 最新ヒット曲 *

●ピアノピース『涙』

久しぶり演歌の大ヒット曲がピースになつて登場! (中央アート 600円 品切中)
(ヤマハミュージックメディア 600円 発売中)

●溝口肇『Beautiful Life(ビューティフルライフ)』

話題のキムタク出演のドラマ・サントラ集。
(ドレミ 1200円 3/中)

●ピアノピース『金曜日の恋人たちへ』

高橋克典がドラマの中で弾くピアノ曲をいち早くお届けします。(書院、ヤマハ 600円 3/上)

●かつばなにさまかつばさま

NHK『おかあさんといっしょ』で大ブレイク中! 踊りの振りもついています!!
(kmp 500円 発売中)

※発売前の商品に関しては予定価格となっておりますので、発売後の価格が若干異なる場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。